

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 35000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3983 円	
現地通学費	3150 円	(研修先まで バスで 25 分)
教養娯楽費	21951 円	アカロア旅行、ラグビー観戦
被服費	0 円	
雑費	約 16500 円	お土産
その他	0 円	例:
合計	80584 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**

現金の用意方法: 空港にて換金
 その他用意した物: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**

クレジットカード

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**

携帯会社の海外ローミングを利用した。簡単な設定の変更だけで非常に楽だった。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**

薬(季節が真逆であったため順応するまでに時間がかかり風邪をひいてしまった)

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**

なし あり (問題の内容や相談した人等: バス停で現金を盗まれかけた。ホストファミリーと研修先の先生に相談した。)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**

Oh-o! Meiji の「渡航中の危機管理について」や体験記を読み情報収集した上で、貴重品(パスポートやスマートフォン)は紐をつけ首から下げるようにしていた。
 ホームステイ先に近いバス停で 30 歳前後の男性に「Can I exchange it for 4 dollars?」と言われキリの良いお金でもなかったため意味が分からず固まっていたら財布の中の小銭を鷲掴みにされ盗まれかけた。(バスに乗る際に必要なメロカードを財布の中に入れており、丁度バスが近づいてきていたため財布を取りだしていた)実際にはそのほとんどが日本の小銭であったためお金は返ってきたが、自分自身の危機管理能力が足りていなかったと反省している。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**

自然が多い土地なので場所によっては圏外だった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホストファミリーに2歳の子がいたこともあり、朝型の生活リズムであったため、夜も早くシャワーを浴び2歳の子を起こさないようドライヤーをかける必要があった。最初にホストファミリーと細かく家のルールを確認した方が良いと思う。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
お互いの国の食・自然・挨拶・交通事情についてディスカッションをする授業もあったため、英語の勉強だけでなく異文化を知ることや多国籍の人と仲良くなることができ、非常に良かった。また、最初に英語4技能のテストがありその結果に応じたクラス分けであったため自分の英語力にあった授業内容であった。日本人の留学生が多いため仕方ないことではあるが、他のクラスではクラス全員が日本人というところもあり、それだと留学に来ている意味があまりない点が良くない点だと思う。
2)課外プログラムについて
週末に学校から紹介された「Akaroa Day Trip」に参加したが、日本では見ることのできない景色を存分に味わうことができ貴重な経験だった。195\$と簡単に払える金額ではなかったためホストファミリーに相場を聞き、かなりお得だと分かったため参加を決めた。
3)現地での生活に関すること
疑問点や悩み事があったら何でもホストファミリーや友達、先生に相談してみることが重要だと感じた。現地の金銭感覚や交通事情、ホームステイにおけるルールなどは実際に行ってからでないと分からないことも多いので、なんでもコミュニケーションをとろうとする努力を怠らないことが重要だと思う。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
クラスメイトとは授業内のディスカッションや毎週金曜の最後の授業で行われる farewell party などでコミュニケーションをとり、互いのことや異国の文化をよく知ることで非常に仲良くなれた。帰国前最後の授業日にはクラスメイトから名前入りのチェーンをプレゼントされるほど親しくなれた。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム内で交流を深めた台湾出身の生徒の farewell party にて仲良くなった日本人留学生の紹介で、中国人留学生と知り合った。その中国人留学生が国際免許を取得していたため休日は車を出し、私をクライストチャーチの様々な観光地に連れていってくれた。現在でも SNS が繋がっており定期的にやりとりしている。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本に比べ、環境に配慮した商品や行動が多くみられたことが印象的であった。普段のホストファミリーの様子や街の至る所から自然と共生しながら生活している様子を確認できた。例えばホームステイ先では日本よりも細かいゴミの分別方法や水の無駄遣いを防ぐ工夫を知ることができ、スーパーマーケットでは環境配慮を主張した洗剤やスナックを発見した。日本も見習うべき環境配慮型行動や文化が多くあると感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私は CCEL クライストチャーチ英語研修プログラム全体を振り返ると、非常に充実していたと感じています。3週間という非常に短い留学期間であったため、限られた時間を最大限に活用するために細かく計画を立てたことが、プログラムを充実させた要因だと思います。今後短期留学を予定している学生には、現地でホストファミリーや学校の先生から情報を収集し、訪れるべき場所を計画的に巡ることをお勧めします。</p> <p>また、ニュージーランドの国民性や風土も影響しているかもしれませんが、CCEL には寛容でおおらかな性格の生徒が多く自分の性格とも合っていたため非常に過ごしやすかったです。のんびり生活したい方、大自然を全身で味わいたい方はクライストチャーチがおすすめです。</p> <p>正直3週間で英語のスキルがどのくらい上がったのか正確には分かりませんが、リスニング能力が上がったことは実感できます。よって短期間でも英語に耳慣れることはできたのでこれからも英語の勉強を続けていくことでこの英語研修を実のあるものであったといえるようになります。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
------------	------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	51,049 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3,811 円	e-sim
現地通学費	3,623 円	(研修先まで 約 20 分)
教養娯楽費	46,663 円	ツアーなど主に休日の娯楽費
被服費	2,774 円	
雑費	16,606 円	お土産等
その他	174,632 円	航空券、NZ と AUS の ETA、保険料
合計	299,158 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードのタッチ決済
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-sim。購入や準備が簡単で接続もよかった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
乾燥と日差しが強いため、化粧水・乳液・パック・サングラスは持って行ってよかった。 割り箸・カップラーメンやパックご飯などの日本食は持っていけばよかったと後悔した。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーや事前のオリエンテーションなどを通じ収集した。対策としては、夜遅くに 1 人でバスを乗らない、街を歩かないことを心がけた。犯罪には巻き込まれなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校は接続されなかったが、それ以外の場所ではよかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

自由で元気でとても優しいファミリーだった。特にルールはなかったが、シャワーを短時間で済ますことや作ってもらったご飯を完食するなどの常識的な行動をするよう心がけていた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスがカンパセーションメインで、日本ではなかなか身に付けられないリスニングやスピーキングを楽しく学べてよかった。また、それと同時にクラスにはさまざま国の人がいたため、ニュージーランドや他国の文化を学べてよかった。ホームステイ先では、ニュージーランドの食文化や暮らし方をたくさん学べた。

2)課外プログラムについて

課外活動を通じ、他のクラスの子とも交流ができてよかった。ツアーは金額と内容ともに満足した。

3)現地での生活に関すること

自然豊かでのびのびしていて、非常に暮らしやすかった。人もフレンドリーで優しかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ホストファミリーの知り合いや家族、ファミリーの家で暮らす学生と交流があった。マザーが空手の先生であったため、空手の道場で現地学生と話せた。また、ホストファミリーとマザーの両親と一緒にご飯を食べた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特になし。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

夜ご飯はお肉がメイン料理であることが多かった。ポテトチップスやアイスクリームを日本人よりも食べる印象を持った。また、アイスクリームやチョコレートは日本よりも甘かった。バスを降りる際、皆運転手に Thank you という文化があった。また、バス停などで話しかけてもらうことも多かった。日々の生活や授業を通し、助け合いや多様性を尊重する文化を日本よりも感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

2点アドバイスがあります。

1点目は恥ずかしがらず自分らしくいることです。留学で様々な国の人と話すことで、私は違う価値観や文化をたくさん学べ、自分の視野を広げられました。特に印象に残ったことは、他の国の方々皆が私よりも自分の意見をきちんと述べていたことです。それを見て、これからは恥ずかしがらずもっと個性を出して生きていこうと思いました。

2点目はなるべく現地の文化に適應することです。行く国のことを学ぶには、特徴的な食べ物や雰囲気を楽しむなど、なるべく現地の文化を受け入れることが大切だと感じたので、是非少し苦手だと感じるがあってもそれを楽しんでみてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	COEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	1万 円	(研修先まで 15 分)
教養娯楽費	2万 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	2万 円	例:お土産
合計	8万3000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカードに入れた分は研修中に使い切ることを前提にしていたため、お金を理由に何かの体験を諦めるということがなかった。もし、クレジットカードを主に使っていたら、来月の請求額を気にして体験を諦めてしまっていたかもしれない。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
2 ギガの SIM カードを到着と同時に空港で購入。WiFiに関しては、家では家の WiFi を使わせてもらった。学校では、通常なら WiFi が使えたが、故障中で使用できなかった。私が研修を終了する頃に復旧し始める兆しがあった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
持って行ってよかったもの; モバイル充電器(グーグルマップが使えなくなるのを防ぐため)、日焼け止め、薬、お手拭き、ノート 持っていきべきだったもの; パーカー(ジャンパーは持って行ったが、それだけでは足りないほど寒い日があった。また、星を見るツアーに参加するため、テカポ湖に行ったのだが、夜のテカポ湖は特に寒かった。)、タンブラー(学校にコーヒーやココア、お湯などを無料で入れられる場所がある。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ワーホリで NZ に来ている日本人のクラスメート、町に歩いていた人) 特記事項: ・学校に行って、いつも通りリュックを開けるとありが大量発生していた。その場でリュックから大事なものだけを取り出し、リュックは捨てた。 ・登校日初日、降りるバス停を間違えて、知らぬ土地で彷徨うはめになった。現地の人に学校の場所を聞き、何とか無事に学校に着いた。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
クライストチャーチは非常に安全で、危険な場面に遭遇したことはなかった。スマートフォンを奪われることを一番避けたかったため、スマホに紐を通して、常に首に下げていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

SIM カードを 2 ギガ分しか買わなかったが、もう少し多くギガ数を確保する方が良かった。周りの友達も、もっと多くのギガを買っていた。バスを利用することが多かったが、現地のバスは、バス停の名前を明確に示してくれないため、グーグルマップだけがたよりだった。その意味で、スマホは欠かせないものだった。私は、購入分のギガを日本へ帰る日の前日にちょうど消費してしまった。そのため、同じ便で帰る予定だった友達と連絡をとれなくなってしまい、空港で待ち合わせるのが非常に大変だった。また、ギガを心配せずにスマホを使えるようにしておくことは、授業においても利点がある。様々な国からきた友達と話すときに、写真を見せながら説明すると伝わりやすいからだ。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
<p>私のホストファミリーは、何度も留学生を受け入れているようでとても慣れた様子でした。若干、話しかけづらい感じはしましたが、その分少しでも会話が続いたときの喜びは大きかったです。7 歳の男の子がいたため、彼が就寝する 9 時からには静かにする必要があります。日本のサークルの zoom 会議があるときなどは、ささやき声で参加する(ASMR のような感じ)など、若干のやりづらさはありませんでしたが許容範囲だったと思います。</p> <p>これから留学する方には、ホストファミリーに過度に期待しないことをお勧めします。ホームステイがいかに居心地が悪いかを伝えるつもりはまったくありません。逆に、自分も、受け入れ先のファミリーも心地良く生活を送るには、お互いに過度な期待をしないことが肝心だと考えているのです。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
<p>良かった点は、学校がお昼には終わることです。学校終わりに、様々なバックグラウンドを持つ人と関わったことが、私にとって非常に刺激的で有意義な時間だったと思うからです。</p> <p>良くなかった点は、私はありませんでした。ただ、それは、私が素晴らしい先生に担当していただけだからであって、他の先生が担当していたらこのように思っていなかったように思います。私の先生は、会話重視の授業を展開してくださったのですが、他の先生はライティングや文法を主に扱っていたようです。</p>
2) 課外プログラムについて
<p>放課後 1 時間ほどで、参加者同士で会話をするプログラムと、スポーツをするプログラムがありました。どちらも無料で、私は毎週参加していました。そこで出会った台湾人の友達と、プログラム外の時間でも交流するほど仲良くなりました。</p>

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
<p>現地の学生とはほぼ交流はありません。語学学校には英語学習者しか基本いません。CCEL にはアジア系の学生が多いですが、同じくらいの年齢で流暢に英語を話している姿を間近に見ると、とても刺激されます。また、同じ日本人であっても、年齢は様々です。ワーホリでできていた方との交流は特に印象的です。「こういう生き方もあるのか」と気づかされました。皆さん目がキラキラとしていて、楽しそうに生活していました。私の中では、最も感銘を受けたのはワーホリで来ていた方々との出会いです。</p>
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
<p>台湾人の友達とは、大学の敷地内にある卓球で遊びました。今でも鮮明に思い出せるほど楽しい時間でした。</p>

異文化体験について
1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
<p>バス停の名前を運転手が言ってくれないこと。食事は基本的にワンプレートで、野菜は少ないこと。</p>

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修が私の人生に大きく影響するものだったと確信しています。それは、帰国後の生活を送っていて気づいたことなのですが、性格が明るく、そして、大胆になったように感じます。そのように変化した理由は、人の目をあまり気にしなくなったからだと分析しています。留学中は、人にどのように見られているかよりも気になることがたくさんありました。例えば、市内の建物です。近代的なビルと趣深い教会が混在している様子は私の心を揺さぶりました。

留学したらもれなく性格が明るくなるとは言えませんが、何かしらの変化があることは確かです。挑戦してみる価値はあると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 50,000 円	日本よりも物価が高く外食は一食 2000 円ほどした
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,874 円	
現地通学費	4,587 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	約 50,000 円	
被服費	0 円	
雑費	約 5,000 円	
その他	約 10,000 円	例:お土産代
合計	約 132,461 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか**
- 現金の用意方法: 現地のショッピングセンター内にある両替所で両替
 その他用意した物: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください**
- キャッシュレス決済が主流のため、現金を使用する場面はほとんどない
 事前に現地通貨を用意しておらず全ての支払いをクレジットカードで済ませていたが、カジノで現金が必要だったため初めて両替をした
 現金がなくても余裕で生活できる
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。**
- 事前に Trip.com で eSIM を購入しインストールした
 eSIM のため SIM を交換をする必要がなく、現地到着後にアクティベートするだけで良いため便利だった
 動画を見たりインスタを使いすぎなければ 30 日/10GB で十分
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか**
- 家の中でも土足だったため運動靴の他に室内用のサンダルを持っていった
 洗濯機が力強いので洗濯ネット必須
 水が 500ml で 300 円ほどして高いが、水道水が飲めるため水筒推奨(私は現地で購入した)
 足りないものは現地で買い足せば良いと思っていたが、日本よりも物価が高いため
 必要最低限のものではできる限り用意して行った方が節約になる

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**
- なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**
- お財布には必要最低限のものしか入れなかった
 治安が良く犯罪に巻き込まれたことは一度もなかったが、住宅街は街灯が少ないため暗くなってからは注意が必要
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。**
- eSIM でも難なく使用できた
 ホームステイ先では WiFi が使用できた
 学校にも WiFi が飛んでいるはずだが、私の滞在中は工事中で使えなかった

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
若い男女のカップルだった、2 人とも非常に優しかった 週末に一度だけドライブに連れて行ってくれた 朝ご飯はシリアルかパンを自分で好きに食べる感じ、夜ご飯は 6~7 時頃にワンプレート テーブルを使わない家だったため膝の上で食べた(スタンダードかはわからない) シャワーは毎日浴びられた 何時に帰宅してもいいが 6 時過ぎる場合は連絡するようだけ言われた	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業は 8:30~13:00 と早めの時間だったため、朝早いとその分授業後に自由時間がたくさんあった 宿題は毎日プリント 2、3 枚ほど 授業の文法は高校受験レベルのため簡単に感じたが、英語が読めるけどしゃべれない、単語の意味はわかるけど使えない、という典型的な日本の英語教育を実感した クラスはレベル別に分かれており、私のクラスは生徒も先生もすごく優しく、授業も楽しく当たりだった クラスによって授業が楽しいかは差がありそうだった
2) 課外プログラムについて
毎週木曜の授業後に sports activities、金曜は conversation class が実施され、それらに参加すれば他のクラスの人とも関わることができた 日曜日にアカロアヘイルカを見に行くツアーにも参加した
3) 現地での生活に関すること
学校は日本人が多かったが、他にも中国人やタイ人も多かった 大学 2 年の必修授業以来 2 年ぶりに英語に触れた私でもなんとかなったから、絶対大丈夫

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
大学内に併設されている語学学校に通っていたため現地学生と交流する機会はなかった
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
私の滞在中のクライストチャーチには電車がなく、交通機関はバスか車、後自転車ぐらい そのため通学にバスを使用した、アナウンスはなく掲示板もないため Google マップで確認しながらじゃないと大体乗り過ごす、バスが時間通りに来ることの方が少ない また、運転が荒く急発進急ブレーキのため、車酔いしやすい人は注意が必要

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今までほとんど海外経験はなかったが、大学生のうちにしかできないことをしたいと思い 4 年の夏に短期留学を決めた。語学学校には日本人も多かったが、異なる生い立ちや社会的背景を持っている人と交流することができ、すごく刺激になった。日本で暮らしていたら絶対に経験できなかったことが沢山ある。たった 1 ヶ月だったが、大学 4 年間のうちで最も充実していた 1 ヶ月だったと言え切れる。安直な感想だが、本当に楽しかったし今回の研修に参加してよかった。留学を迷っている人がいたら、今すぐ参加を決めてほしい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	4500 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	5000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	40000 円	例:お土産
合計	70500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金はほとんど使わず、クレジットカードを使っていた
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カード
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
荷物を常に持ち歩くようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使うことができた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

家にあるものは基本的にすべて自由に使うことができ、生活しやすかった

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

初日にテストを受け、自分のレベルにあった少人数のクラスに入ることができ、クラスを変えたい場合も先生に相談することができた。スピーキング、リスニングを中心に勉強した。少人数で先生もフレンドリーな人が多かった。

2)課外プログラムについて

曜日ごとに授業後に決まったアクティビティがあり、スポーツや英会話、クッキングアクティビティに参加した。週末の日帰り旅行に参加し参加料は別でかかるがバスや昼食代も含まれていた。

3)現地での生活に関すること

バスで行けるところがほとんどなので移動が不便なことはなかった。何か聞きたいことがあったら研修校のスタッフの人が相談に乗ってくれて助けてくれた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

放課後のスポーツアクティビティなどで交流した。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

放課後にバーベキューをしたり、ハイキングに行ったりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスの中で話しかけられて、フレンドリーで優しい人が多いと感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語の勉強だけでなくほかの国から来た人たちと関わって異文化を実際に体験できたので行ってきてよかったです。もっとたくさんの人と会話できるようにより英語の勉強を頑張りたいと思うようになりました。ニュージーランドは自然に囲まれていて、市内には観光できる場所もあり生活しやすかったです。毎日様々な国の人たちと一緒に英語を勉強し、家でもホストファミリーと英語で話すので英語の勉強とさらに、現地で様々な人と交流したいと思っている人にはよい研修先だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	クライストチャーチ英語研修
------------	---------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9千 円	
現地通学費	3千 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	4万 円	
被服費	0 円	
雑費	2万 円	
その他	円	例:
合計	11万2千 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどの支払いをクレジットカードで行いました。現金はほぼ使いませんが、メロカード(バスのカード)をチャージする際に現金は便利でした。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
esim フィジカルの sim カードに比べて本当に設定が楽でしたし、何より sim を無くす心配がないことが良かったです。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ドライバーは持っていき直前まで悩みましたが、一応持っていきました。ホームステイ先にドライバーがなかったのが、持って行って正解でした。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
出国前に下調べとして、現地の治安についての情報を得ていました 特に犯罪に巻き込まれたことはなかったです。ハプニングとして、スマホをお土産屋の棚に置いたまま店を出てしまって、少したって持っていないことに気づき、慌てて店に戻りました。幸いなことに、見つかりましたが、以後このような事は絶対にならないといけないと思いました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
とても良かったです

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
1 人部屋だったことが私にとって何より良かったです。もちろん留学なので、積極的に人と話すことは重要ですが、1 人の時間も必要だと思います。特に、普段の生活で 1 人の時間も大切にしている人は 1 人部屋を用意してくれるホームステイを選ぶべきだと感じました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かった点:先生が本当に新味になって教えてくださって、今まで学んでこなかった英語の深いところまで学ぶことができたこと 良くなかった点:私のクラスではないが、日本人が多いせいで、日本人だけで構成されたクラスがあったこと
2)課外プログラムについて
授業後にスポーツとカンパセーションアクティビティがありました。私も数回参加しましたが、どの回も盛り上がっていました。また、私は参加できなかったのですが、土曜日にはハイキングアクティビティが開催されていて、参加すればクラス以外の人も仲良くなることができます。
3)現地での生活に関すること
ホームステイ先がどこになるかによりますが、私の場合は通学にバスで 40 分かかりました。私はいつも授業開始ギリギリに登校してしまっていました。朝が苦手な人には少し苦痛に感じるかもしれません。しかし、その分生活のリズムは整います。また、日本よりもお店や娯楽施設が閉まるのが少し早いです。学校が終わってからだとあまり観光する時間がとれないことが少し残念な点でした。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
バスを降りる際に「Thank you」と感謝をドライバーに伝える文化が印象的でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は、大学に入って留学することは 1 つの目標でした。しかし、今までチャンスがあったものの色々な理由をつけて諦めてしまっていました。それでも留学への思いは捨てられなかったため、学生最後の夏休みに挑戦することになりました。しかし、参加をするうえで、懸念点だったことがあります。それは、「海外で英語を学ぶ」必要があるのかということです。日本である程度英語は勉強していたので、わざわざ海外で英語を勉強することに意味はあるのかと思っていました。しかし、実際授業を受けてみると、今までの英語の学習では学ばなかった、英語の細かいニュアンスまで学ぶことが出来たり、様々な国から集まる年齢も異なる学生から様々な事を学ぶことが出来ます。彼らは、私よりも流暢に英語を話すことが出来ます。それでも自分の英語力は低いと言い切り、必死に学んでいる姿がそこにはありました。私も英語を話せるようになりたい、読めるようになりたいと勉強をしてきました。しかし、日本ではそれほど英語を使う場面は少ないし、英語を話せなかったとしても問題なく働くことが出来ます。しかし、他の国ではそれが当たり前ではありません。クラスメートには、私のような 20 代の人がいれば、もっと年上の人も多いです。「英語を学ぶ」という事から広がる価値観を体感することが出来ました。私は、海外で英語を勉強することで得られる学びの深さを知ることが出来たので、悩んでいる人がいたらおすすめしたいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	3000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	15000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	68000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で外貨両替を行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーから危険地域や防犯対策について聞いた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ESIM を利用したが特に問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
とても良心的で、夕食の時間や休日の空いた時間によく話していた。子供がいる家庭だったので、コミュニケーションが図りやすかった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

初日にテストを行いクラス分けするため自分にあったスキルの授業をうけることができる。
留学した時期が日本人の多い期間であったため日本人のみのクラスが生まれてしまい母国語で話す機会が多かった。

2) 課外プログラムについて

毎週木曜日にスポーツアクティビティ、金曜日にコンバーセッションアクティビティがありこの機会を通じて他クラスの学生と交流が生まれた。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

アジアの学生と休日や放課後出かけることが多かった。

2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

タイの学生が毎週土曜日にハイキングを行っており、仲良くなった後ピザパーティーやご飯を食べて過ごした。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスから降りる際、乗客が運転手に感謝を伝える文化があること。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回が初めての海外研修だったが、ホストファミリーや現地の学生に恵まれ有意義な3週間で過ごすことが出来た。渡航する前は他国で生活することへの不安が大きかったが、数日間生活すると徐々に慣れ始め当初の不安はすぐに消えた。渡航した先の季節が冬であり、暖房やヒーターが日本よりも性能が高くないため寒さに耐えることが辛かった。この時期に渡航する際には、ヒートテックやダウンが必須であると思う。また、紫外線が強く近くの山や丘に登ると目を痛めてしまうので帽子やサングラスや日焼け止めを使う機会が多かった。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	主にお昼代
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 分)
教養娯楽費	60000 円	ツアー2回、演劇鑑賞、ラグビー鑑賞など
被服費	0 円	
雑費	1500 円	ドライヤーを現地で購入したため。
その他	15000 円	例:お土産、
合計	12000 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 3000 円程度
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんど現金を使わず、カードでの支払いでした。
ただ、マーケットでは現金のみのお店もあったため、少しは用意しておくべきだと思います。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Esim を利用しました。
オークランド乗り換えだったため、トランジェットの際もインターネットに接続でき、とても便利でした。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本のドライヤーを変圧器を通して利用したのですが、結局変圧器が壊れてしまったため、現地でドライヤーを購入しました。変圧器を持っていくのではなく、海外対応ドライヤーもしくは現地でドライヤーを購入することをお勧めします。一番安いドライヤーで1500 円程でした。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前のオリエンテーション等で収集しました。
実際に巻き込まれることはありませんでしたが、友達の中にはお金を取られた人もいました。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
市内では接続がよかったのですが、はずれると繋がらない時がありました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
とても優しくフレンドリーな家庭でした。 どこの家庭でもシャワーの時間が制限されます。私の家庭は5分でした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
先生も生徒もとても優しくフレンドリーで、他国の人と英語で会話する機会がたくさんあります。間違えることを恐れず、英語を使って伝えたいという気持ちになりました。学ぶ環境が整えられていました。
2)課外プログラムについて
CCEL が主催しているツアーが週末に開催されていたため、参加しました。バスで行くため安心して観光することができました。
3)現地での生活に関すること
ニュージーランドは水道水を飲むことができます。 また交通機関はバスがほとんどのため、メトロカードを買うことをお勧めします。 メトロカードを利用すると、現金で払うよりも安く乗ることができます。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業中には、コミュニケーションをする機会がたくさんあります。毎日テーマに沿ってディスカッションを行うため、毎日交流することができます。私のクラスの場合、7カ国の異なる国籍の生徒がいたため、それぞれの国の文化の違いなどを学ぶことができました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
放課後、クラスの他国の人とクライストチャーチ内を観光しました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
ニュージーランドの飲食店は、その日の店内の状況に合わせて閉店時間を前倒しすることがあります。私が実際に体験した例では、お店に入ると、今日は人がいないから1時間早く閉店をされると言われました。ネットに記載している情報と、実際の営業時間が異なるので注意が必要です。 日本にくらべて時間にルーズで、ゆったりとしていて、自然も雄大のため、日本とは違った生活をすることができました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私は、このプログラムに参加して他国の文化を学ぶことが目的でした。私が通った C C E L は主にアジアの多くの学生がおり、授業や放課後の時間を通して、様々な国の文化を学ぶことができました。</p> <p>また、ニュージーランドは移民が多い国であるため、街中でもさまざまな国の人が見られます。実際に私のホストファミリーも、インド人とイングランド人でした。そのため、ニュージーランドの暮らしを体験しながらさまざまな国の文化について学ぶことができ、とても勉強になりました。</p> <p>また、移民ということもあり、英語を学ぶ人に対してとても優しい傾向があります。街中のスーパーやカフェ等で英語が聞き取れなかった際、簡単な英語に変えて、もう一度繰り返して話してくれる人がほとんどでした。ニュージーランドは、英語を学ぶことに適した環境であると思います。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。その際は匿名で公開します。

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
------------	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	昼食、間食(朝食、夕食はホストマザーが作ってくださった)
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	12,000 円	NTTドコモの海外利用サービス
現地通学費	2,700 円	(研修先まで 60 分)、外ロバス
教養娯楽費	40,000 円	
被服費	0 円	
雑費	3,000 円	
その他	25,000 円	例:お土産
合計	132,700 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 銀行 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カード支払いが役に立った。どのお店もカード支払いが前提に会計が行われていた。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
NTT ドコモによる「世界そのままギガ」を利用した。事前にサービスを予約するシステムであるため、ニュージーランドに到着した時点ですぐに利用することが出来て便利だった。また電話番号も日本で使用していたものをそのまま使うことが出来たため良かった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホストマザーや留学を通して仲良くなった海外の人に渡すための日本のお土産は準備して行って良かった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
研修先の初日オリエンテーションで付近の治安や防犯対策について知った。帰りが遅くなる時は、ホストマザーに安全に帰宅することが出来る最善の方法を伺ったり、ニュージーランドに長く住んでいる日本人から話を聞いたりした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
とても居心地のよいホームステイ先であった。ニュージーランドはペットを飼っている人の割合が多いように感じたため、もしペットが苦手な人は申し込みの時点でエージェントに伝えておくのと良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
英語のレベルによりクラス分けがされていたため、授業のレベルが適していてとても良かった。一方、留学に行った期間が日本の大学の夏休みであったため、CCEL の生徒の日本人の割合がとても高かった。そのため、CCEL にいるときも日本語が飛び交っていることが多く、英語を話す機会が少し減ってしまっているように思った。
2)課外プログラムについて
毎週木曜日にはスポーツアクティビティ、毎週金曜日にはカンパセーションクラスといったアクティビティが企画されており、ここではCCELに通っている生徒が集まるため、様々な英語のレベルの生徒と話すことが出来る良い機会となった。特にカンパセーションクラスでは文法などはあまり気にせず、テンポを大切に会話を行うというルールがあったため、自分の英語力の向上にとってもつながったと思う。
3)現地での生活に関すること
ニュージーランドはとても住みやすい街だと思った。クライストチャーチはたくさんメトロバスが広範囲で走っているため、交通の便では困ったことは特になかった。環境を大切にしている国であるため、ゴミの分別もしっかり行われており、道端などもきれいに保たれていた。プログラムを選択するにあたって、治安面や衛生面に重きを置くことが良いのではないかなと思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
CCEL には全世界からの英語を学びに来ている生徒が集まっているため、いろいろな世界の人と仲良くなる事が出来た。特にクラスの人とは授業中だけでなく、休憩時間にも一緒にお菓子を食べながらお話しすることが多かったため、すぐに仲良くなる事が出来た。休日には仲良くなったクラスの人と観光地に行ったり、一緒に勉強したりした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外での交流は特になかった。バスの運転手や店員など気さくに優しく話してくれた人が多く、ニュージーランド人は親切な人が多いという印象を受けた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
洗い物をするときに、食器についている食器用洗剤の泡を洗い流していなかった。ニュージーランド人の水をとても貴重に思う気持ちが、洗い物の仕方の違いを生んでいるのだと思った。 また、バスのアナウンスがなかった。どこで降りるのかは位置情報アプリを使って常に確認する必要があるため、はじめの方は少し手こずることが多かった。さらに、バス下車時にはほとんどの人が運転手に向かって「Thank you」と言ってから降りていた。感謝を実際に言葉で伝えているこの文化はとても素敵だと思った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>留学は英語力向上が目的であると考えられやすいが、今回の留学を通して、英語力の向上だけでなく異文化理解や生活力向上など多くの気づきや学びがあった。毎日新たな発見や学びがあったため、充実した日々を送ることが出来た。ニュージーランドに到着した日から2日間ほどは思ったことを英語で伝える難しさをとても実感し、上手く話すことが出来ない自分にとっても悔しかった。しかし、ホストマザーやクラスメイトが分かりやすくゆっくり話してくれたり、ジェスチャーを使って話してくれたりしたおかげで、会話することのハードルが下がり、自分から積極的にコミュニケーションをとることが出来るようになった。この体験から、日本に来ている留学生と話す時は分かりやすい言葉で表情やジェスチャーをつけて話すことを心がけようと思った。また、留学生に限らず、日本を訪れている外国人が困っていたら積極的に声をかけようと思った。</p> <p>少しでも留学に興味がある人は、留学でしか学ぶことが出来ないことがたくさんあるため、ぜひ挑戦することをお勧めしたい。留学は決して楽しいことばかりでないことはないですが、自分の成長につながることは間違いないです。</p>
--